

2. 海老江西地域の特性と予想される被害

(1) 地域の特性

地域の南東側に地下鉄野田阪神駅、JR海老江駅、北西に阪神淀川駅があり、地域の間を国道2号線が通り、交通の便がよいところです。

古くからの住宅が密集する地域や石畳が残る町並みがあり、高齢者の割合も高い一方、マンションが増えて、新しい住民も増えているものの、人口減少の傾向にあります。

地域にある八坂神社では、夏と秋に祭りが催されて賑わいをみせます。

(2) 防災面からみた海老江西地域

海老江西地域を防災面からみると、海老江七丁目と八丁目は住宅密集市街地で古い建物が多く、また狭隘な道路に囲まれており、地震などの被害が大きくなる可能性があります。

地震の揺れによる家屋倒壊の危険性が高く、道路がふさがれて、消火活動や家屋の下敷きになった住民の救助が困難になると想定されます。

町会の一時避難集合場所も公園以外に住宅街のモータープールなどが利用されています。ワンルームマンションは、町会への加入率が低く、各組織に若い世代を取り込んで活性化することが求められます。

また、この付近は平坦な土地で、北は淀川に面しており、浸水による被害にも注意しなければなりません。

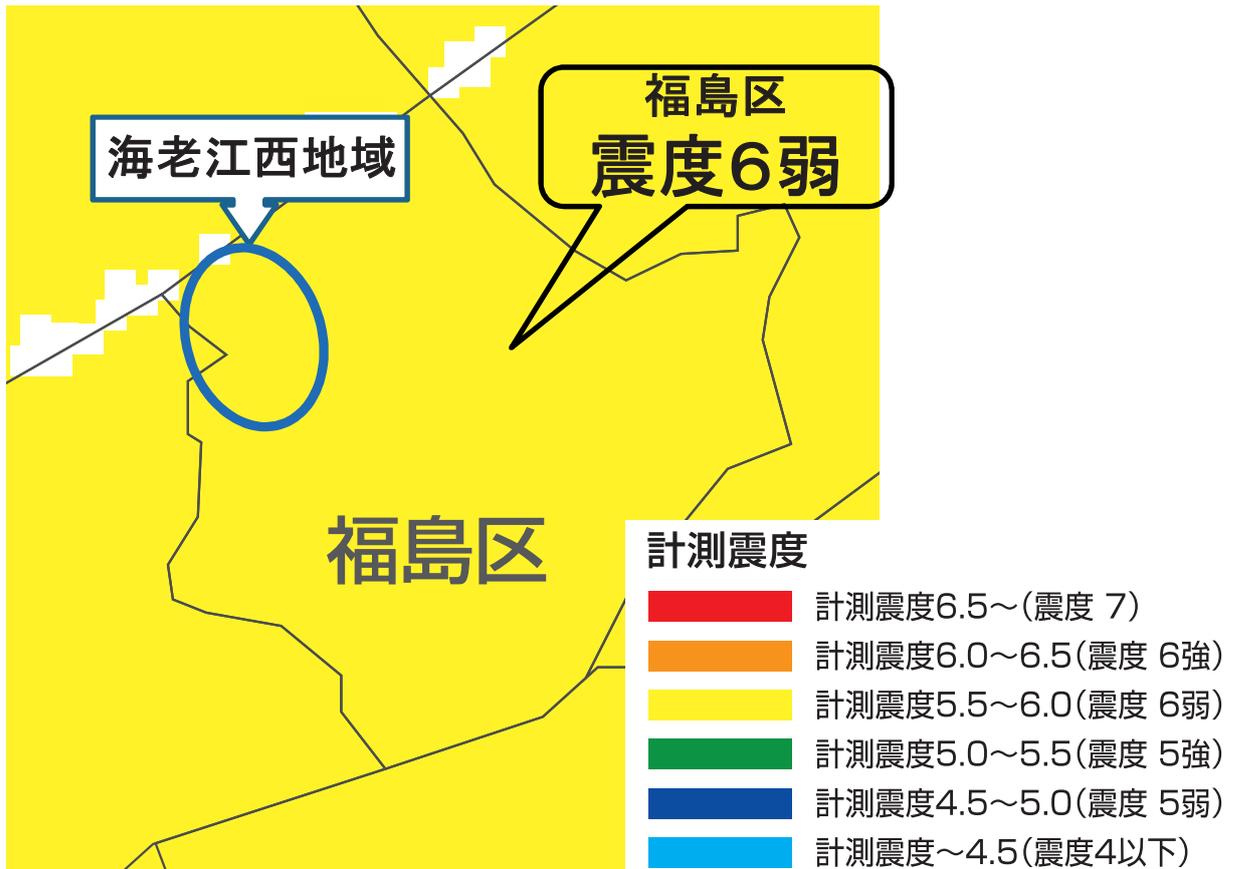
平成29年3月に地域防災力向上を目的としたまちかど広場「えびえにし防災広場」が完成し、マンホールトイレ、雨水貯留槽、手押しポンプ、ソーラー照明灯、防災倉庫が置かれ、防災活動や地域コミュニティ育成の場となっています。

また、海老江七・八丁目は、福島区における土地利用更新環境整備モデル事業*1として区画整理が行われ、今後の町の不燃化や災害時の避難通路の確保に取り組んでいます。

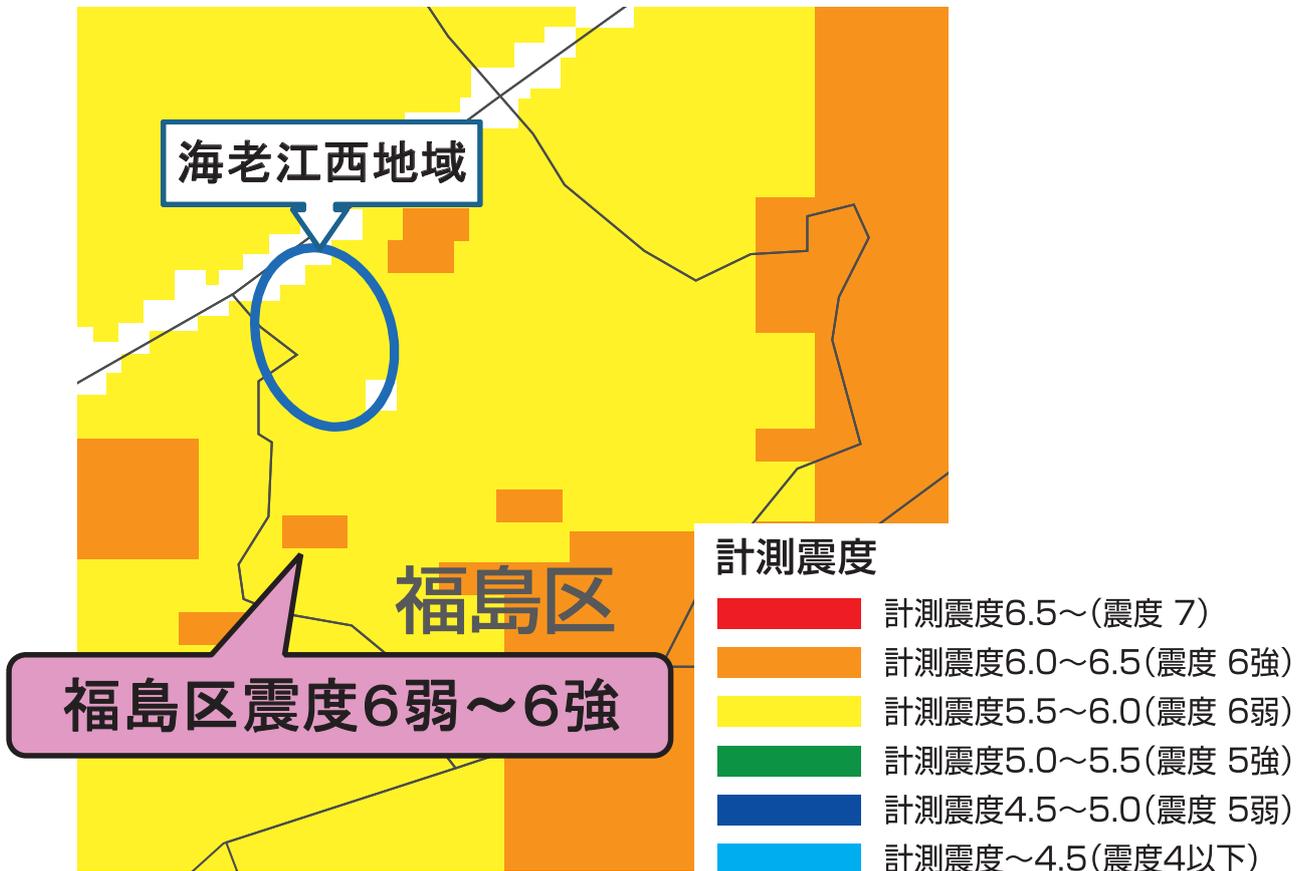
*1 「土地利用更新環境整備モデル事業」とは、

福島区海老江7・8丁目のモデルエリア内において、建替え意向が多いにもかかわらず地籍が混乱していることにより単独での建替えが困難なエリア等を対象に、区役所と連携して敷地の整序・整形化や地籍の整備を主目的とする小規模な土地区画整理事業をスポット的に実施し、幅員4m以上の道路整備による接道条件の改善や公図のずれを訂正することにより、建替えや円滑な土地取引が図られるような土地利用更新環境を整備するとともに、既存補助制度の活用も図りながら、老朽住宅の建替え促進や災害時などの避難路の確保を図る事業です。(平成32年度終了予定)

(3) 海溝型地震(南海トラフ巨大地震)



(4) 直下型地震(上町断層での地震)



震度6弱、6強、7とは

電気・ガス・水道などのライフラインはストップすることも予想されます。

震度 6弱

- 立っていることが困難になる
- 未固定の重い家具の多くが移動、転倒する
- かなりの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損

震度 6強

- はわないと動くことができない
- 未固定の家具のほとんどが移動し、転倒する
- 壁のタイルや窓ガラスが破損

震度 7

- 揺れに翻弄され、飛ばされることもある
- 未固定の家具は飛ぶこともある
- 補強済みのブロック塀も破損するものがある



海溝型地震の被害状況

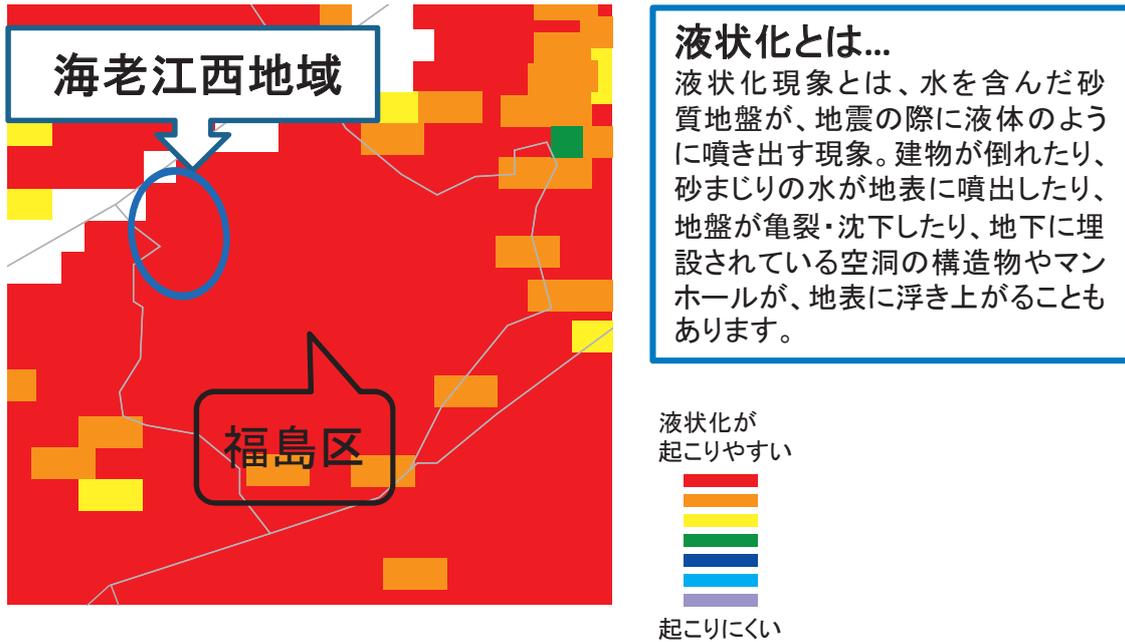
大きく長い揺れで津波が来る可能性がある。



直下型地震の被害状況

揺れは短いが、激しく強く揺れる。
高い建物でも大きく破壊するものがある。

(5) 液状化可能性想定図



福島区では、全体的に液状化が起こりやすい地域となっています。
 液状化の被害が出ると亀裂や泥などで容易に通行ができず、避難路であっても機能しにくくなります。

(6) 津波被害・河川氾濫・内水氾濫での被害



□南海トラフ巨大地震による津波被害…… 約3.0m(最大) 青色ライン

[マグニチュード9.1程度の地震が発生し、最大クラスの津波による浸水が起きた場合(防潮堤の沈下や防潮施設の開閉状況を考慮)(満潮時を想定)]

□淀川が氾濫した場合の被害…… 約5.1m(最大) 赤色ライン

[平成27年改正水防法に基づき、想定しうる最大規模の降雨として、24時間に360mmの降雨を想定]

□豪雨などによる内水氾濫の被害…… 約0.5m(最大) 黄色ライン

[総雨量567mm、時間最大雨量93mmの降雨(東海豪雨級の降雨)を想定]

(7) 福島区の被害想定

区分	上町断層帯	南海トラフ	生駒断層帯
全壊棟数	木造 2,295棟 非 201棟	木造 589棟 非 40棟	木造 410棟 非 22棟
半壊棟数	木造 2,190棟 非 532棟	木造 1,015棟 非 148棟	木造 712棟 非 113棟
死者数 (早朝)	46名	6名	3名
死者数 (昼夕)	47~49名	6名	4名
負傷者数	1,292~ 1,464名	634~685名	434~510名
避難者数	5,180名	1,636名	1,134名

(大阪市危機管理室編集)

(8) 海老江西地域の被害想定

区分	上町断層帯	南海トラフ
全壊棟数	木造 222棟 非 12棟	木造 76棟 非 4棟
半壊棟数	木造 250棟 非 36棟	木造 131棟 非 14棟
死者数 (早朝)	3名	1名
死者数 (昼夕)	3名	1名
負傷者数	100名	58~60名
避難者数	454名	193名

(大阪市危機管理室編集)